

「患者体験調査」における国第2期計画全体目標の測定結果一覧

※「患者体験調査」（都道府県がん診療連携拠点病院と、地域がん診療連携拠点病院のうち1施設を無作為抽出し、19歳以上のがん患者を対象に調査）

「がん対策における進捗管理評価指標の策定と計測システムの確立に関する研究」国立がん研究センターH27. 11

○ 全てのがん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上	全国	秋田県
1 医療の進歩		
「一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思いますか？」 という問いに対し、1. そう思う、または2. ややそう思うと回答した患者の割合	80.1%	86.9%
2 適切な医療の提供		
「現在の心身の状態についてお答えください。からだの苦痛がある。」 という問いに対し、4. あまりそう思わない、または5. そう思わないと回答した患者の割合	57.4%	66.5%
「現在の心身の状態についてお答えください。痛みがある。」 という問いに対し、4. あまりそう思わない、または5. そう思わないと回答した患者の割合	72.0%	75.9%
「現在の心身の状態についてお答えください。気持ちが辛い。」 という問いに対し、4. あまりそう思わない、または5. そう思わないと回答した患者の割合	61.5%	72.0%
「現在自分らしい日常生活を送れていると感じていますか？」 という問いに対し、1. そう思う、または2. ややそう思うと回答した患者の割合	77.7%	89.4%
「これまで治療を受ける中で、医療スタッフから治療スケジュールの見通しに関する情報は得られましたか？」 という問いに対し、1. 十分得られた、または2. ある程度得られたと回答した患者の割合	89.1%	88.5%
「これまでで入院治療を受けた時、医療スタッフから退院後の生活の見通しに関する情報は得られましたか？」 という問いに対し、1. 十分得られた、または2. ある程度得られたと回答した患者の割合	78.9%	83.1%
「あなたが医療機関で診断や治療を受ける中で、患者として尊重されたと思いますか？」 という問いに対し、1. そう思う、または2. ややそう思うと回答した患者の割合	80.7%	85.0%
「病院から診療所・在宅医療（看護も含む）へ移った際、病院での診療方針が診療所・訪問看護ステーションへ円滑に引き継がれたと思われましたか？」という問いに対し、1. そう思う、または2. ややそう思うと回答した患者の割合	72.7%	78.4%
「あなたはこれまで受けた治療に納得していますか？」 という問いに対し、1. 納得している、または2. やや納得していると回答した患者の割合	88.1%	93.1%
「あなたはこれまで受けた支援（医療機関、行政、職場、家族、友人などによる）に納得していますか？」 という問いに対し、1. 納得している、または2. やや納得していると回答した患者の割合	80.4%	84.6%
3 適切な情報提供・相談支援		
「あなたは、自分が思うような日常生活を送るのに必要な情報を得られていると思いますか？」 という問いに対し、1. そう思う、または2. ややそう思うと回答した患者の割合	71.5%	72.5%
「がんと診断されたとき、病気のことや療養生活に関する様々な疑問について相談できる場がありましたか？」 という問いに対し、1. あった、と回答した患者の割合	67.4%	81.3%
○ がんになっても安心して暮らせる社会の構築		
1 経済的困窮への対応		
「治療費用の負担が原因で、がんの治療を変更・断念したことがありますか？」 という問いに対し、1. ある、と回答した患者の割合	2.7%	0.0%
「がんの最初の治療（手術、化学療法、放射線療法など、経過観察も含む）のための通院にかかった交通費は、1回、往復でおおよそどのくらいの費用ですか？」において最も多かった回答	(1円～2,000円) 56.4%	(1円～2,000円) 44.2%
2 家族の介護負担の軽減		
「あなたは現在、がんになったことで、ご家族に負担をかけていると感じますか？」 という問いに対し、1. よく感じる、または2. ときどき感じると回答した患者の割合	42.1%	38.3%
「一般的にみて、がん患者の家族の悩みや負担をやわらげてくれる支援・サービス・場所があると思いますか？」 という問いに対し、1. 十分あると思う、または2. 十分ではないが、ある程度あると思うと回答した患者の割合	37.1%	42.3%
3 がんになっても孤立しない社会の成熟		
「あなたはがんと診断されてから、家族から不必要に気を使われていると感じますか？」 という問いに対し、1. よく感じる、または2. ときどき感じる、と回答した患者の割合	30.7%	38.3%
「あなたはがんと診断されてから、家族以外の周囲の人（友人、近所の人、職場関係者など）から不必要に気を使われていると感じますか？」という問いに対し、1. よく感じる、または2. ときどき感じる、と回答した患者の割合	22.3%	17.4%
「がんと診断された時、収入のある仕事をしていましたか。」に対して 「1. はい、収入のある仕事をしていた」と回答したがん患者のうち、 「そのとき働いていた職場や仕事上の関係者にがんと診断されたことを話しましたか。」という問いに対し、 1. 関係者に広く話した、または2. 一部の関係者のみに限定して話した、と回答した患者の割合	90.5%	84.1%